

～古賀市のまちづくりの教科書、できました～

古賀市まちづくり基本条例

私たちのまちの
私たちによる
私たちのまちづくり

「古賀市まちづくり基本条例」は、私たちのまち古賀市を、「これからもずっと住み続けたいと誇れるまち」にみんなで作ってあげていくためのルールです。

議会、行政はもとより、市民一人ひとりがまちづくりの担い手として、古賀市の誇りを次世代に引き継いでいくことが大切です。人や地域の結びつき、信頼関係を強めながら、お互いに協力し合えるまち、古賀市。そのためにあなたができることが、このパンフレットの中で見つかるかもしれません。





古賀市まちづくり基本条例が めざすもの



～みんなで作る“住み続けたいまち”の実現～

「まちづくり」と聞くと、「なんだか難しそう」そんな風に思いませんか？古賀市では、日頃から地域活動やボランティア活動など、たくさんの方が意識しないうちにまちづくりに取り組んでいます。

まちづくりに関わる人が改めてまちづくりの基本的な考え方「ルール」を共有するためにつくったものが、「古賀市まちづくり基本条例」です。

様々な立場の人が対等な立場に立ち、いろいろな考えを出し合いながら、まちづくりの担い手として活動することは、強い絆やより豊かな人間関係も生み出します。

みんなで作る「住み続けたいまち」。それがまちづくり基本条例がめざすまちの姿です。

「まちづくり」で大切なこと 3つの基本ルール

情報共有

まちづくりに関する
情報を共有すること

市民参画

行政が実施する活動
に市民等が意見を述べたり、
提案したりすること

共働

お互いに理解を深め
共通の目標に向かって
対等な立場でまちづくりに
取り組むこと

～大切なコミュニティ活動～

普段から地域活動が盛んなところは、信頼関係や絆が強いといわれます。

災害が起きたときや困ったときに助け合い、励まし合う温かい関係が保てる「まち」の実現のためには、コミュニティ活動や団体同士の連携・協力した活動がこれまで以上に重要となっています。

自治会

- ・自治会は、市民にとって最も身近な地域コミュニティであり、地域の課題に総合的に取り組んでいます。
- ・地域をきれいにしたり、子どもや高齢者を見守ったりするだけでなく、防犯灯の設置や維持管理なども行っており、自分たちの住む地域を安全で安心して暮らせるような活動をしています。



防災訓練

市民等

自治会などの活動を認識し、参加、協力するよう努力していきます。



校区コミュニティ

- ・校区コミュニティは、小学校区内の自治会や市民・各種団体によって組織されています。
- ・1つの自治会だけでは対応が難しい課題や広域的に対応した方が効果的な活動に取り組んでいます。

市民活動団体

- ・共通の目的を持つ人が集まり公益的な活動を行う団体です。
- ・「自発性」「先駆性」など様々な特徴を持っています。

行政

団体の主体性を尊重しながら、今後も積極的に支援します。



豆知識
この条例では「市民等」ということばを下記の人や団体を含んで使っています

- ・古賀市に住んでいる人
- ・古賀市の事業所等に通勤している人
- ・古賀市の学校に通学している人
- ・自治会
- ・校区コミュニティ
- ・市民活動団体
- ・事業者

目的・理念など

目的（第1条）

市民等・議会・行政がそれぞれの役割を果たし、お互いに連携して市民が住み続けたいといえるまちの実現を図ることを目的としています

定義（第2条）

条例で使用していることばの定義を定めています

まちづくりの基本理念（第3条）

市民等・議会・行政はお互いに連携し、お互いの自主性や自律性を尊重し合い、それぞれの責任と役割を果たしながらまちづくりに取り組みます

まちづくりの基本原則（第4条）

情報共有・市民参画・共働を古賀市のまちづくりの基本原則とします

条例の位置付け（第5条）

他の条例や行政計画を定めるときは、この条例との整合性を図ります

まちづくりに関わる人の役割

市民等の役割等（第6条）

・自発的意思によって積極的にまちづくりに関わる役割を担っています
・まちづくりに取り組むときは、自らの発言及び行動に責任を持つことが必要です

議会の役割等（第7条）

・市の議事機関としての役割を担っています
・議会基本条例に基づいて活動しています

行政の役割等（第8条）

・市長を代表として市民のための事業を実施する役割を担っています
・効率的で公正かつ透明性の高い行政運営を行います

3つのルール

情報共有（第9条）

・市民等・議会・行政は、情報共有に努めます
・行政は、情報の把握に努め、積極的に発信します

市民参画（第10条）

・市民等は、自発的意思に基づいて、市民参画することができます
・行政は、市民参画の機会の確保に努めます

共働（第11条）

・市民等、議会及び行政は、対等な立場でお互いに理解を深め、共働のまちづくりを推進するよう努めます
・市民等、議会及び行政は、対話や交流の機会の提供に努めます

知ろう！学ぼう！

古賀市まちづくり基本条例

前文

古賀市は、国の史跡に指定されている船原古墳、緑豊かな犬鳴の山並や白砂青松の花鶴浜など、歴史遺産と自然に恵まれ、文化の伝承も大切にされている心豊かな地方都市です。また、古来より人や物が行き交う交通の要衝となっており、多様な人々が集い、様々な場で交流が盛んに行われていることも、古賀市の誇るべき財産となっています。

私たちは、英知を傾けてこれら地域の歴史、文化を守り育て、古賀市の誇りを次世代に引き継いでいきたいと願っています。

しかし、少子高齢化の進行、地方分権社会の進展などにより、私たちを取り巻く環境は急速に変化しています。そのなかで、心豊かな子どもたちが育つ、安全で安心して暮らせるまちをつくり、未来に残していくためには、議会、行政はもとより、市民一人ひとりがまちづくりの担い手として、これまで以上に人や地域の結びつきを強め、信頼関係を構築し、お互いに協力し合いながら、前向きに取り組んで行くことが不可欠です。

私たちはここに、古賀市におけるまちづくりの担い手の役割を明らかにし、私たちのまち古賀市が「これからもずっと住み続けたいと誇れるまち」となるように、この条例を制定します。

前文には、「なぜこの条例を作るのか」、「これから古賀市はどうあるべきか」など、市民で構成する策定委員会の皆さんの想いが詰まっています

大切なコミュニティ活動

コミュニティ活動（第12条）

・自治会は、その区域内のまちづくりを実践する主体として、市民の交流・親睦を促進する活動や身近な暮らしに関わる課題の解決に取り組みます
・校区コミュニティは、小学校区内の市民や団体等の交流・連携を促進する活動を行います
・自治会、校区コミュニティ、市民活動団体及び事業者は、それぞれの特性を生かしながら、連携・協力してコミュニティ活動の推進に努めます
・市民等は、コミュニティ活動に参画・協力するように努めます
・行政はコミュニティ活動に対する支援を行うよう努めます

条例の推進・検証

条例の推進・検証（第17条）

この条例の推進及び運用状況の検証を行うため、検証委員会を設置します

条例の見直し（第18条）

・市長は、この条例の施行後4年を超えない期間ごとに、この条例の規定について検証を行い、必要な対応を行います
・検証する際は、検証委員会に意見を求めます

行政運営

意見等の取扱い（第15条）

・行政は、市民等の意見を広く聴く機会の充実を図り、行政運営に反映させます
・行政は、市民等から行政運営に対する意見等を受けたときは、適正かつ公正に対応します

附属機関等（第16条）

行政は、附属機関等の委員を選任するときは、公募等により幅広い層の市民等から選任するよう努めます

基本構想（第13条）

市長は、総合的かつ計画的な行政の運営を図るため、基本構想を策定します

行政計画（第14条）

・行政は、市民参画の機会を設けながら行政計画を策定するよう努めます
・行政は、行政計画の適切な進行管理を行います

私たちが思い描く「古賀市」に向かって

2017年6月30日、古賀市まちづくり基本条例が古賀市議会の議決を経て誕生しました。

その2年5か月前の2015年1月、将来のまちづくりに向けたルールづくりのために、条例策定のための委員会（策定委員会）を設置し、10代～70代の市民委員30人と一緒に踏み出しました。自治会長や市民活動団体の代表者もいれば大学生なども参加して、何度も会議を重ね、条例の内容を検討しました。

また、同じ校区に住む市民同士などが語り合う「古賀みらいサマーミーティング」、次世代を担う中高生と地域を支える大人たちがまちづくりについて考える「古賀みらいオータムミーティング」を開催するなど、可能な限りたくさんの市民の想いを反映しました。

条例制定後は、まちづくり基本条例の推進と検証を行うため、古賀市まちづくり基本条例検証委員会（検証委員会）を設置しました。

この策定委員会や検証委員会の委員のみなさんに、まちづくりに対する想いを聞きました。

条例がめざす「みんなでつくる住みたいまち」、それはまちづくりに対する想いを分かち合い、一人ひとりが行動し、パートナーシップを築きながら実現していくものです。



亀田 真羽
古賀竟成館高校
3年

古賀市のいい所は自然を大切にしているところです。地域の方が花壇を手入れしたり中学生が松林清掃を行ったりしています。今後も自分の住むまちを良くするための積極的な活動の輪が広がってほしいです。



石井 嘉一郎
検証委員会委員

古賀が好きです。だから地域みんなで安全・安心まちづくりのため防犯防災と環境の維持に取り組んでいます。



吉田 絵美
策定委員会委員

まちづくりは隣近所のコミュニティを作ること。それが安心、安全、住みよいまちに繋がると思っています。行政任せにしない！市民任せにしない！協力し合ってより良いまちに。

水田 洋司
策定委員会委員
検証委員会委員



古賀市まちづくり基本条例を「まちづくり」のルールとして活用し、古賀市に住み続けたいまちにしましょう。



田北 雅裕
検証委員会委員

まちづくりは「できること」ではなく「できないこと」が可能性。できないからこそ、誰かと一緒になれます。まちづくりはひとりぼっちにならないおまじないです。



戸田 祐子
策定委員会委員

まちづくりは、自分が住んでいる「まち」を知る、小さな1歩から始まります。条例策定も、古賀のたくさんの魅力を話し合うことからスタートしました。これからも「住んでよかった」古賀をみんなに教えたいです！



柿木 滉平
古賀竟成館高校
3年

「古賀市といえば○○」といえる観光スポットを主張していくことで古賀市をさらにPRできるようになると思います。古賀市はまだまだ発展中なので福岡を代表する都市になってほしいです。



結城 俊子
検証委員会委員

古賀市に住んで良かった、これからも古賀に住みたいと思うまちづくりを子どもたちも含め、市民と手を取り合って進めていきたいです。



今村 恵美子
策定委員会委員
検証委員会委員

条例づくりでたくさんの知り合いができました。古賀を愛する人たちが、この街をもっと暮らしやすくする知恵を出し合いました。歩けば古賀の良さがわかります！



清水 佳香
策定委員会委員

「古賀」の前に「私」をつけてまちを見回してみると、「まちづくり」が自分とつながる気がします。ぜひ一度やってみてください。



高村 範亮
策定委員会委員
検証委員会委員

誰かに言われてするよりも、自分から動くまちづくりの方が楽しい。そう感じる人が、古賀市まちづくり基本条例で増えてらうれしいです。

みんなで取り組むまちづくり (まちづくりのイメージ)



古賀市に関わる一人ひとりの、古賀市への想いが栄養となり、古賀市というまちを育て、まちづくりという花を咲かせます。

まちのことを知ることが大事。まちを知ればまちを好きになると思います。
「古賀学」

市民参画の機会を逃すのはもったいない！情報をキャッチしましょう。

自治会での活動は自分のためと思っています。やりがいがあるけど、一緒に活動してくれる役員が増えるといいな。

顔の見える地域のつながりをつくるには、交流の機会を作ることが大切だと思います。

みんながまちづくりに参画したいと思えるように、市政情報を分かりやすく提供します。

条例の策定経過や条文の解説は、詳しいものを古賀市ホームページに掲載しています。また、解説は古賀市コミュニティ推進課でもお渡ししています。

平成30年3月作成

発行元・お問い合わせ先

古賀市総務部コミュニティ推進課

電話：(092) 942-1165

FAX：(092) 942-1291

Eメール：commu@city.koga.fukuoka.jp